

吉川市都市計画マスタープラン

～吉川市の都市計画に関する基本的な方針～

ダイジェスト版

都市計画マスタープランとは

吉川市が目標とするまちの将来像を示す大切なプランです！

都市計画マスタープランとは、アンケート調査やまちづくり懇談会などでいただいた、市民のみなさんのご意見やご提案と吉川市固有の地域性を踏まえ、今後の吉川市のまちづくりについて定める計画です。

【都市計画マスタープランの役割】

- より地域に密着した都市計画を推進します
- 都市計画事業に対して市民が理解でき、協力・参加しやすくなります
- 吉川市の主体的な都市計画を推進します

吉川市の将来のすがた

①目標年次

この計画は、平成33年度（2021年度）を目標とします。

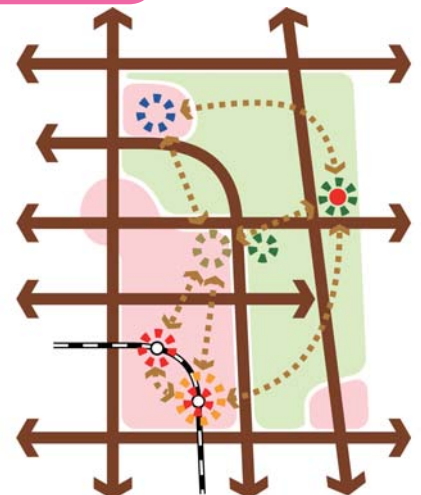
②まちづくりの目標

人と自然をはぐくみ ゆとりとやすらぎのある住みよいまちづくり

③将来人口の設定

平成33年（2021年）における吉川市の将来人口を概ね75,000人と見込みます。

将来都市構造図



市街地ゾーン	産業拠点
田園・レクリエーションゾーン	レクリエーション拠点
コミュニティ交流拠点	防災拠点
商業拠点	都市間軸
複合新拠点	都市内軸

土地利用

人と自然が共生する 環境に配慮したまちづくり

- 市の発展に合わせ、多様なニーズに対応した市街地の形成
- 活気に満ちたまちにするための産業の振興
- 人と自然の共生を図るまちづくり
- 集団的な優良農地の保全

①住宅系地域

既存の住宅系市街地における都市基盤施設の整備充実による住環境の改善を図るとともに、計画的な開発を実施した地区については住環境の維持増進を図ります。また、人口増加に対応した宅地供給を進めつつ、地区状況に応じた適正かつきめ細かな土地利用を誘導し、地域に根差した個店や商業施設などとの調和を図り、良好な住環境を有する市街地形成に努めます。

②複合系地域

吉川美南駅の設置と市街地拡大にともない、市民生活を支える各種都市機能の集積や住宅地整備により、多機能型の新たな市街地形成を図ります。

③工業系地域

既存の工業系市街地における生産・就業環境の維持・改善を図るとともに、新たな工業地では周辺環境に配慮した工場立地を推進し、さらなる産業の振興と地域経済に貢献する就業の場の確保をめざします。

④農地及び集落地域

農地及び集落地について、現況の土地利用を基本的に継承しつつ、営農環境や生活環境の維持保全を図ります。

⑤産業まちづくり地域

既存の集落地環境の維持向上とともに、新たな道路の整備による交通利便性の高まりを見据えて、周辺環境との調和を図りながら、工場や流通業務施設などの立地を誘導します。

⑥その他の地域

将来都市構造に位置づけられた「レクリエーション拠点」および「防災拠点」の形成に対応し、公園や緑地における機能の充実を図るとともに、市街地内の環境保全に資する空間確保を図ります。

都市施設

豊かな生活空間を創出するための 都市の骨格づくり

- 都市内及び都市間移動の利便性を高める道路・交通網の形成
- 公共施設等へのアクセスを強化するネットワークづくり
- 維持管理などによる既存ストックの有効活用
- 自然環境を活用した余暇空間の創出
- 高齢者や子供たちがふれあえる場の創出

①道路・交通体系

《道路》

東埼玉道路及び常磐自動車道を広域幹線道路と位置づけ、これらとの連絡を考慮しつつ、橋の架け替えや道路の拡幅・新設により都市内の円滑な交通流動を支える道路網の構築を図ります。

《歩行者・自転車用道路》

歩行者及び自転車の安全性と利便性を確保するため、十分な幅員を確保した歩行者・自転車用道路の整備を図ります。また、交通安全意識の高揚を図ります。

《公共交通》

JR武蔵野線の鉄道駅を中心に、市域全体をネットワークするバス交通網の構築を図り、通勤・通学、買い物等における利便性の向上だけでなく、子どもや高齢者・障がい者等に配慮したサービスの充実も目指します。

②公園・緑地

《公園・緑地》

緑豊かで安全な都市環境を形成するため、市民に身近な公園の不足地域の解消を図るとともにすべての人にやさしい公園づくりに努めます。また、市民農園等の整備や集団優良農地の維持・保全に努めます。

《水と緑のネットワーク》

公園、ポケットパーク、その他の公共公益施設等、水、緑などに触れて親しむことができる市民の憩いの場について質の向上を図り、それらをつなぐ歩道、緑道等の整備によるネットワークの強化により、歩行者、自転車等を優先に考えた水と緑のネットワークを形成します。

都市環境

人にやさしい快適な都市環境の形成

- 水と緑を活かした住環境の形成
- 快適な暮らしの実現と低炭素社会への貢献
- 防犯に配慮した安心して暮らせるまちづくり

①自然環境の保全

河川・水路等の水辺空間や、集団優良農地などの緑地空間を保全・活用し、自然環境の中で豊かな生活が営める環境形成を図ります。

②生活環境の向上

市街地内における緑化や下水道等の整備を推進し、快適な生活環境の形成を図ります。

③環境負荷の軽減

資源の有効活用を目指した3Rや省エネルギーの推進を図るとともに、水や大気環境の保全に努め、環境負荷の軽減による地球にやさしいまちづくりを進めます。



都市防災

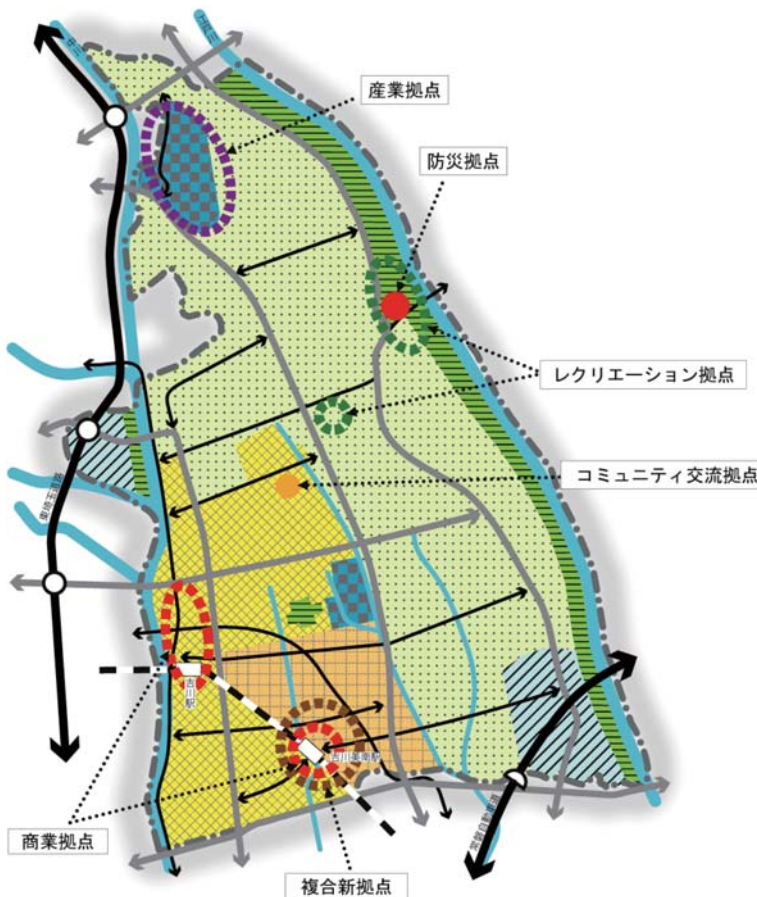
災害に強いまちづくり

- 避難路、避難所ネットワークの強化
- 住宅密集の解消による安全・安心なまちづくり
- 治水対策による水害に強いまちづくり

都市景観

水と緑に出会える都市空間の創出

- 江戸川・中川などを活かした水辺景観の形成と保全
- 農地と屋敷林や集落の織りなす一体的な景観の保全
- まちなみに配慮した質の高い市街地景観の形成



全体構想図



	住宅系地域		広域幹線道路 インターチェンジ
	工業系地域		主要幹線道路
	複合系地域		主要道路
	農地及び集落地域		鉄道・駅
	産業まちづくり地域		河川
	その他の地域		行政界

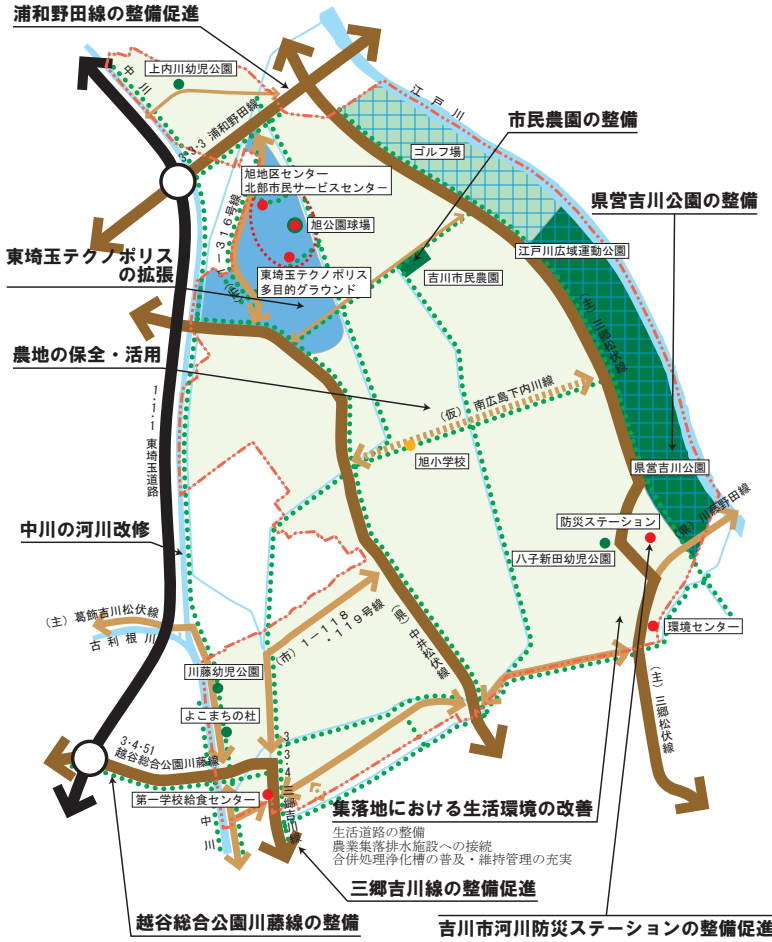
地域別構想

地域づくりのテーマ

清流と田園風景を大切にしたい、あさひがかがやく緑のまち



北部 地域



地域づくりのテーマ

川とみどりにかこまれた、こころ豊かな希望はぐくむまち



東部 地域



凡

住環境改善ゾーン
建築物が密集している地区は、地区計画制度などの活用・道路の拡幅や公園の整備などにより、住環境の改善を図ります。

住環境向上ゾーン
面整備済み地区は、地区計画制度などにより質の高いまちづくりを目指します。

住環境形成ゾーン
現在面整備中の地区は、都市基盤施設の整備に合わせ、グレードの高い住宅地形成を図ります。

住工共存ゾーン
既に住宅と工場が混在する地区は、敷地内の緑化などにより、住宅と工場が共存しうる環境形成を図ります。

沿道サービスゾーン
日常生活を支える生活利便機能などの沿道サービス施設の立地誘導を図ります。

複合多機能ゾーン
吉川美南駅や新市街地形成による優れた立地条件を活かし、多様な機能を合わせ持つ複合的な市街地の形成を図ります。

工業専用ゾーン
既存の工業地は、敷地内の緑化などにより周辺環境と調和した産業拠点づくりを目指します。

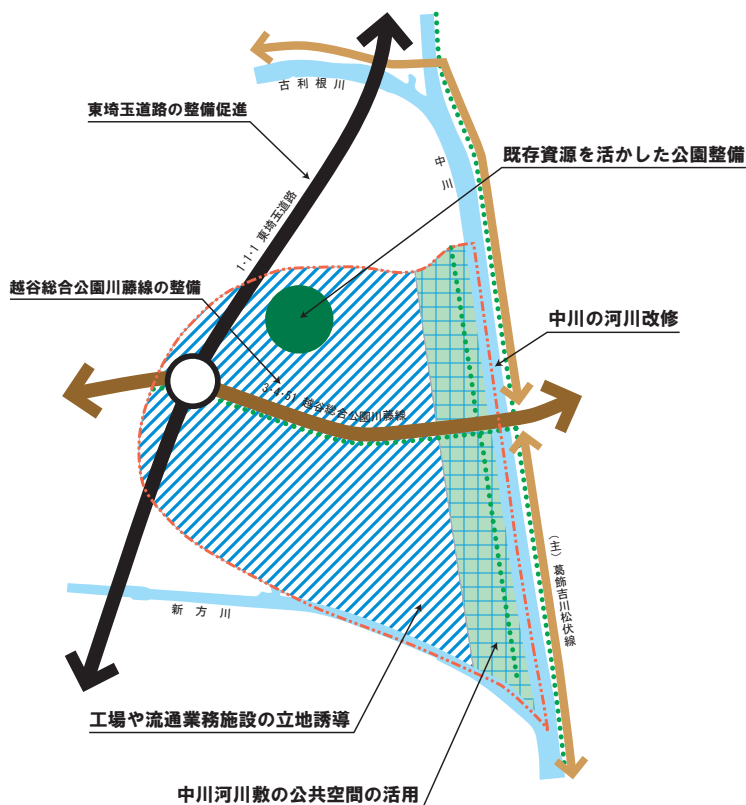
地域づくりのテーマ 水と緑とパワーあるまち

例

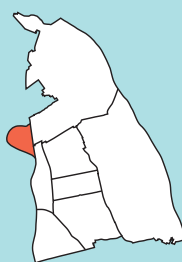
農地及び集落地ゾーン
既存の優良農地を保全するとともに、集落地については、屋敷林などの集落景観を維持しながら、生活環境の改善を図ります。

産業まちづくりゾーン
東埼玉道路の整備や三郷松伏線パイパスによる立地条件を活かし、既存の集落地環境に配慮した工場や流通関連業務施設などの立地を誘導します。

緑空間ゾーン
江戸川河川敷・中川河川敷などは、交流の場、憩いの場となるゾーン形成を図ります。



西部 地域



地域づくりのテーマ ちょっとオシャレでやさしいまち

- 学校
- 公共施設
- 公園等
- 複合施設
- 地域拠点
- 水と緑のネットワーク
- 広域幹線道路
- 主要幹線道路
- 幹線道路
- 補助幹線道路
- 河川・水路・調整池
- 地区界



中央北部 地域

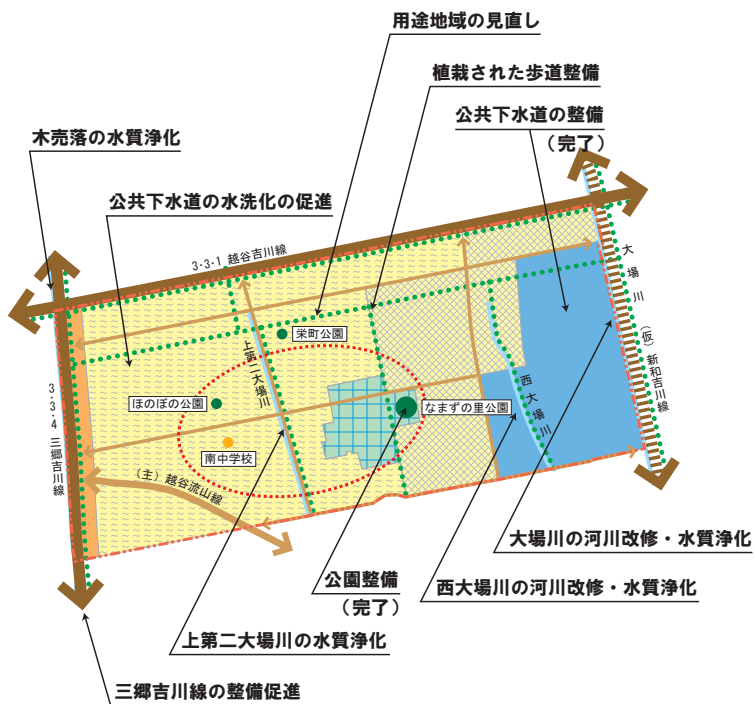
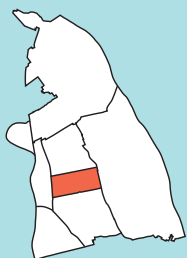


地域別構想

地域づくりのテーマ

活力とやすらぎのある安全なまち

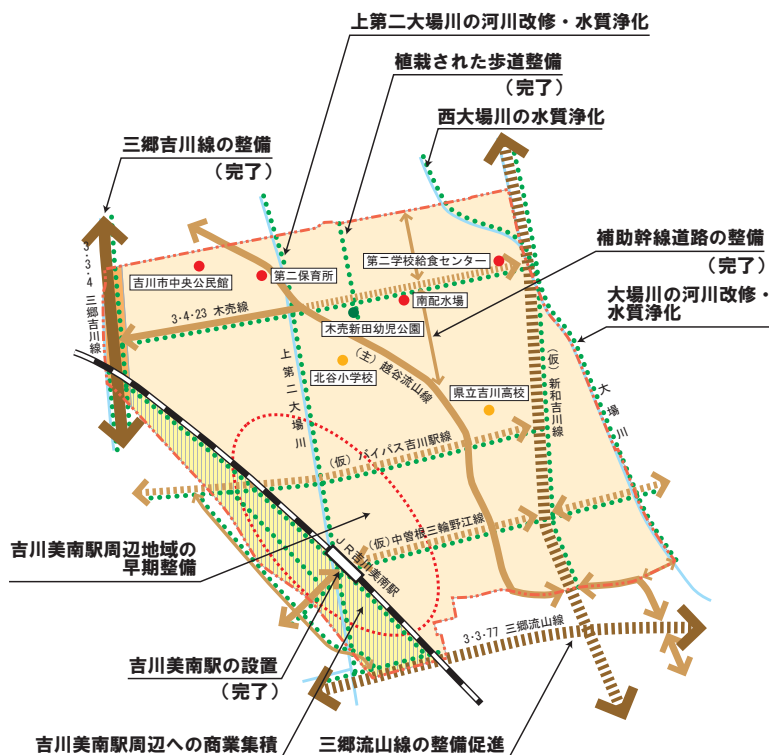
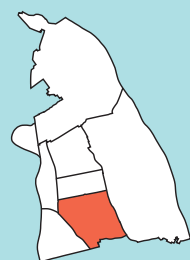
中央 地域



地域づくりのテーマ

夢・未来にはばたくまち

中央南部 地域



凡

住環境改善ゾーン
建築物が密集している地区は、地区計画制度などの活用・道路の拡幅や公園の整備などにより、住環境の改善を図ります。

住環境向上ゾーン
面整備済み地区は、地区計画制度などにより質の高いまちづくりを目指します。

住環境形成ゾーン
現在面整備中の地区は、都市基盤施設の整備に合わせ、グレードの高い住宅地形成を図ります。

住工共存ゾーン
既に住宅と工場が混在する地区は、敷地内の緑化などにより、住宅と工場が共存しうる環境形成を図ります。

沿道サービスゾーン
日常生活を支える生活利便機能などの沿道サービス施設の立地誘導を図ります。

複合多機能ゾーン
吉川美南駅や新市街地形成による優れた立地条件を活かし、多様な機能を合わせ持つ複合的な市街地の形成を図ります。

工業専用ゾーン
既存の工業地は、敷地内の緑化などにより周辺環境と調和した産業拠点づくりを目指します。

地域づくりのテーマ

安全・快適に暮らし、にぎわいと活気あふれるまち

例

農地及び集落地ゾーン

既存の優良農地を保全するとともに、集落地については、屋敷林などの集落景観を維持しながら、生活環境の改善を図ります。

産業まちづくりゾーン

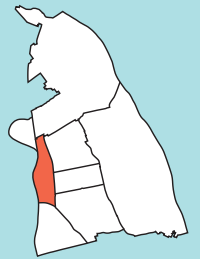
東埼玉道路の整備や三郷松伏線パイパスによる立地条件を活かし、既存の集落地環境に配慮した工場や流通関連業務施設などの立地を誘導します。

緑空間ゾーン

江戸川河川敷・中川河川敷などは、交流の場、憩いの場となるゾーン形成を図ります。



中央西部
地域



地域づくりのテーマ

自然と調和し、活力とうるおいのあるまち

● 学校

● 公共施設

● 公園等

● 複合施設

● 地域拠点

● 水と緑のネットワーク

■ 広域幹線道路

■ 主要幹線道路

■ 幹線道路

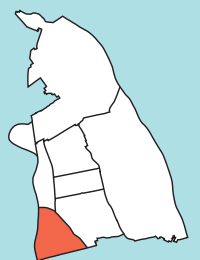
■ 補助幹線道路

■ 河川・水路・調整池

■ 地区界



南部
地域



将来像の実現に向けて

協働によるまちづくり

都市計画によるまちづくりを推進するためには、市民・事業者・行政の各主体がそれぞれの役割を認識し、相互に連携を図ることが必要です。そのため、それぞれの役割を果たすことができる協働体制を推進していきます。



①市民の役割

まちづくりの主体として、市民一人ひとりがまちづくりに対する興味や関心を高め、身近なまちづくりや話し合いの場に積極的に取り組んでいくことが必要です。

《市民によるまちづくり活動例》

- 建築協定、地区計画制度等の地域独自の環境整備・保全をするためのルールづくり
- 敷地内の緑化や街角へのフラワーポットの設置等、市民のみなさんが行うまちなみ景観の形成
- ボランティア活動としての公園の清掃や環境美化等による、施設利用の増進と、利用する側のモラルの向上
- まちづくりに関する要望やアイデアの提案・提言

②事業者の役割

事業者は、地域社会を構成する一員として、身近なまちづくりに参加するとともに、事業活動を通して暮らしやすいまちづくりの実現に貢献していくことが必要です。また、開発等を行う場合は、市が目指すまちづくりの方向性を十分に理解し、周辺の環境や景観に配慮した施設計画など、積極的なまちづくり活動への取り組みが求められています。

③市の役割

市民・事業者が主体的にまちづくりに参加できるような体制を整えるとともに、市民活動を積極的に支援する必要があることから、次のような方策により市民・事業者・行政が一体となったまちづくりの推進を図ります。

- 都市計画マスタープランの周知
- 継続的な情報提供
- 個別事業における市民意向の導入
- 行政と市民の対話の場の確保
- 市民活動に対する支援

実現化に向けて進めること

- 都市計画マスタープランに基づく都市計画の決定等
- 関連諸計画・事業制度の活用
- 庁内体制の充実
- 広域的な連携と調整

都市計画マスタープランの進行管理

都市計画に係る部門別の計画・整備を実践していくために、次の内容により、都市計画マスタープランの進行管理システムづくりに取り組みます。

- 計画内容の実効性を確保するために、様々な指標を活用しながら計画の進捗状況を把握し、評価・管理を行います。
- 都市計画マスタープランは長期的な計画であるため、社会情勢の変化や総合振興計画の策定時など、必要に応じて見直しを行います。

吉川市都市計画マスタープラン【ダイジェスト版】

策定：平成24年3月改訂

発行：埼玉県吉川市

〒342-8501 埼玉県吉川市吉川二丁目1番地1

☎048-982-5111 (代)

編集：吉川市都市建設部都市計画課